



神奈川県立

高P連会報

事務局 横浜市神奈川区神之木台22番14号
県青少年課神之木台分館内
TEL 045-432-5889
FAX 045-432-5891
編集・発行 神奈川県立高等学校
P T A 連 合 会
広 報 委 員 会

第43回神奈川県大会開催

初会場 パシフィコ横浜にて



県大会で挨拶される引地教育長

千名を超える会員が参加し、県大会がパシフィコ横浜で開催された。これは、昼食場所の確保をとの要望にこたえ実現された。大会終了後は会長・校長が五階小ホールに会場を移しての臨時総会。引き続き同会場では、P E A C E 暴力防止トレーニングセンター代表で絵本作家の、安藤由紀先生による「子どもと同じ目線に立って」と題した講演が行われ、午後四時半全ての日程が終了した。

開会式では、主催者を代表し県高P連秋山薫会長が「皆さんと協力し青少年の健全育成に取り組んでいきます」と挨拶した。続いて神奈川県教育委員会引地孝一教育長が、本大会の盛況とP T A 活動へのねぎらいを述べられた。教育ビジョンについて、11月5日横浜平沼高校を会場に「かながわ人づくりフォーラム」が開催され、多くの県民の皆さんが参加し、活発に意見交換されたことを報告された。これからの生徒に望むこととして「遅しき・やさしき・自己選択と自己決定できる力を育てて下さい」と話され、大森野高校80周年行事での、11人の吹奏楽部員が

OBの助けを借りて演奏会を行った際、部員の小さな自信が「いた」の言葉の重さと、大柄高校のたった一人の体操部員が国体に出場するまでを例に紹介された。教育長が、生徒たちの活躍を熱い心で支援されていることに、深い感謝の念を感じた。また、高校改革後期計画について説明され、高P連の協力に対して感謝の意を表し挨拶された。

次に校長会五十嵐勲会長の挨拶と安全振興会小山秀文理事長の挨拶があった。

表彰式では、長年の高P連への尽力に対し、知事感謝状が岡真知美前副会長に贈られた。退任役員・理事及び前事務局長、県立高等学校校長会高P担当理事の校長先生方に対し、会長感謝状が贈られた。受賞者を代表し岡真知美さんが謝辞を述べ、温かい拍手が送られた。

大会終了後、発表第一部が開催され、小田原高校P T A の「統合から新たな小田原P T A へ」、瀬谷高校P T A より、「生徒たちの未来のために」よりよい活動を目指して」と題し事例発表が行われ、足柄高校佐藤拓男校長と、上溝高校大屋泰夫校長より助言があった。

昼食後の発表第二部では、横浜南陵高校P T A の「学校づくり応援団」麻生総合高校P T A によ

る「T H E P T A ウォーブル見えるP T A を目指して」相模大野高校P T A 「もう一度、原点に立ち返って自分の目で見て、知って、学校を応援していこう」というテーマで発表された。三校の発表に対して、岩戸高校清田稔校長、横浜平沼高校並河絹江校長と横浜南陵高校島巡陽一校長先生から助言があった。

会場は、生徒たちの支援と学校への応援をしていこうという熱い思いに包まれ、各発表校に惜しみない拍手が送られ終了した。

尚、会場で実施したアンケートの結果については、大多数の方々より良かったとの評価を頂いた。詳しくは高P連ホームページにてご報告する予定です。

臨時総会無事に終了 18年度事務局体制等を承認

11月29日(火)パシフィコ横浜にて、神奈川県立高等学校P T A 連合会臨時総会が開催されました。開会の言葉で幕を開け、県高P連秋山薫会長が臨時総会開会についての主旨説明を行いました。続いて臨時総会に至った経過説明がなされ、事務局より資格確認があり、出席者23名、委任状48名の計21名、構成員の三分の一を満たし、成立したと報告されました。

湘南鎌倉地区の鈴木啓之理事と東西地区の佐々木一人理事を議長に選出し、審議に入りました。第一号議案「平成18年度以降の事務局体制」第二号議案「平成18年度事業編成・予算編成方針案」第三号議案「細則の改正」について提案した後一括審議。主だった質問は次の通りです。

○分担金40円の値上げについて説明して欲しい。
○ふれあい・研修費のゼロは、逆に単Pの負担になるのではないか。
○Pと生徒の共催による交通安全大会はいつ実現できるか。
○16年度の関東大会のように学校を会場にして実施してはどうか。

これら質問に答弁した後、拍手多数で全ての議案が承認されました。最後に、秋山会長が皆さんのご理解に感謝を述べ、幕を閉じました。皆さんの声を真摯に受け止め、更なる発展を誓いました。

第43回 県大会表彰者名簿 (敬称略)

- | | |
|---|---|
| 会長感謝状 (個人)
島山利子 前川崎高等学校長
木曾満枝 前霧が丘高等学校長
鈴木洋祐 前岡津高等学校長
飛田 稔 前水取沢高等学校長
横山 武久 前新城高等学校長
勝田 厚 前逗子高等学校長
柳 正巳 前茅ヶ崎北陵高等学校長
早野通哲 前秦野高等学校長
胡桃成式 西湘高等学校長
衛藤武市 前相模大野高等学校長 | 会長表彰 (団体)
前高P連理事校
○岸根高等学校 ○商工高等学校
○横浜南陵高等学校
○菅高等学校 ○岩戸高等学校
○深沢高等学校 ○伊勢原高等学校
○山北高等学校 ○ひばりが丘高等学校
○外語短大付属高等学校 |
|---|---|

このところ「食育」という言葉を耳にします。家庭の基本は食だと思えます。冷凍食品・ほか弁・コンビニやデリバリーと便利になりました。しかし、愛情に勝る調味料はありません。手作りの料理を囲み、会話の弾む団欒はお腹と心を同時に満たしてくれます。今度の休日いかがですか。

では何故衝撃を受けたのかと言え、私の家庭もそれぞれの都合で食事を「餌」を食べる家族だったからです。子どもが幼かった頃は、揃って食べることが当たり前だったことが、成長と共にいつしか孤食が普通になっていきました。個人の生活を尊重する」という便利な言葉を言い訳に「餌」を食べる家族になっていったのです。

奈川県立高等学校校安全振興会が、生徒の皆さんの安全意識の高揚を図ることを目的に「安全」と「健康」をテーマに、毎年作文コンクールを実施している。平成16年度、最優秀賞を受賞した泉香織さんの「餌を食べる子ども達」を読み衝撃を受けた。彼女の家庭は共働きのため、一人での朝食となったがそれを当たり前と思っていた。だがその後読んだ料理研究科、服部幸應氏の「団らん食」というエッセイがきっかけとなり、孤食は空腹を満たす「餌」であると気づき、自分の食事を見直していく様がストリートに表現されていた。

財団法人、神奈川県立高等学校校安全振興会が、生徒の皆さんの安全意識の高揚を図ることを目的に「安全」と「健康」をテーマに、毎年作文コンクールを実施している。平成16年度、最優秀賞を受賞した泉香織さんの「餌を食べる子ども達」を読み衝撃を受けた。彼女の家庭は共働きのため、一人での朝食となったがそれを当たり前と思っていた。だがその後読んだ料理研究科、服部幸應氏の「団らん食」というエッセイがきっかけとなり、孤食は空腹を満たす「餌」であると気づき、自分の食事を見直していく様がストリートに表現されていた。

平成17年度 第29回広報紙コンクール 受賞校

Table listing award winners for the 29th Newspaper Contest. Columns include award category (賞), awarding organization (受賞PTA), and school name (受賞校).

第29回(平成17年度) PTA広報紙コンクール 106校が応募

大船高校が最優秀賞受賞



大船高校PTAの皆さん

第29回広報紙コンクール表彰式が1月24日アカデミー会館で挙...

審査講習

学校と保護者結ぶツール

神奈川新聞整理部次長 小松 裕史

29回目となる広報紙コンクールの審査員を初めて務めさせていただきました...

神奈川県教育委員会

からのお知らせ

かながわの教育ビジョン

現在、子どもたちをめぐっては、不登校やひきこもり、いじめや暴力行...

シ(Url) // www.pref.kanagawa.jp/osirase/ed-seisaku/forum/annai.htm

載していません。また、県政情報センター等の県の窓口でも資料をご覧いただけます。

う等、取組をさらに進めていく予定です。また、併せて、県内の市民活動サポートセンター等に高校生がボランティア活動を行うための支援等を求め、連携を進めていきます。

【問い合わせ】教育政策課 電話 045(210)8081 FAX 045(210)8921 Eメール ed.eisaku@pref.kanagawa.jp

【問い合わせ】教育政策課 電話 045(210)8081 FAX 045(210)8921 Eメール koukokaikaku49@pref.kanagawa.jp

この春次の講座が開講します。お近くの学校で受講してみませんか。【問い合わせ】生涯学習文化財課企画推進班 電話 045(210)8342

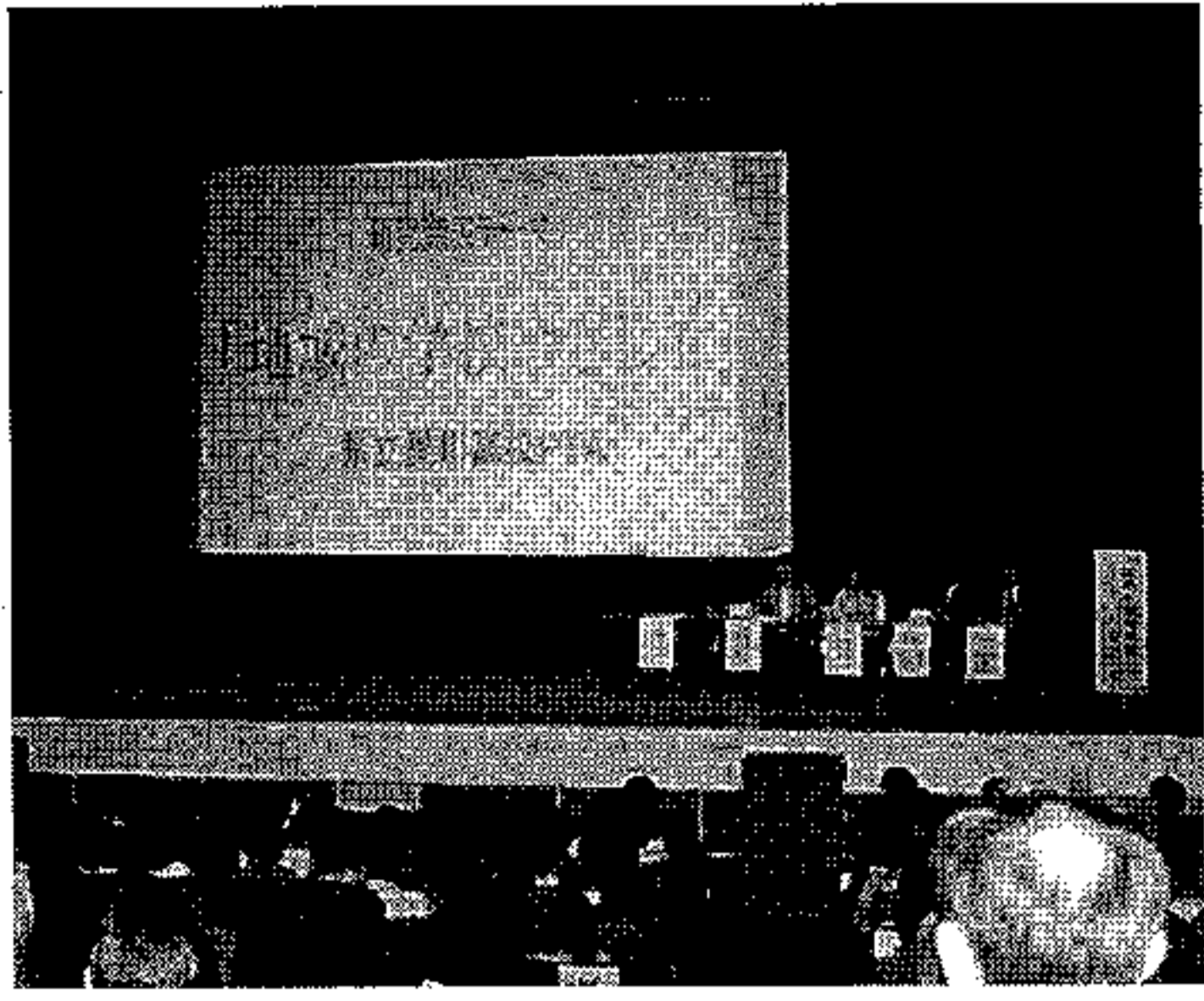
昨年11月には、「かながわを人づくりフォーラム」を開催し、「かながわ人づくり宣言」を表明して、県民の皆さんとの議論をスタートさせました。

県立高校改革の情報は... 県のホームページ(Url) // www.pref.kanagawa.jp/osirase/ed-seisaku/syovai/menu.htm

平成18年度は、かながわ県民センター5階(横浜駅西口から徒歩5分)の県生涯学習情報センター内に、高校生のボランティア活動支援の県域拠点としての「高校生ボランティアセンター」を設置し、NPO等との連携の下に、高校生スタッフによる高校生のためのボランティア活動の企画・運営を行

Table for '県立学校公開講座' (Public Lectures at Prefectural Schools). Columns include venue/theme, dates, fees, and contact info.

県央地区大会
地域性あふれる活動報告



て、薫風祭(文化祭)では保護者の方が自国の芸能を披露し交流している。

また保護者、先生と地域の方々が協力し、学校を守り生徒を育てるPTSCA活動をすすめている。

10月14日(金)大和市生涯学習センターにて、県央地区大会が開催された。講師に教育ジャーナリストの青木悦さんをお迎えし「なかよし」のフリに疲れる子どもたち」と題し講演があった。

青木さんは、溢れる情報に振り回され、子育てを強いられているお母さん達の応援団長を自負し、豊かな時代の子どもの現状に早くから危機感を抱き、講演活動が続けられた。青木さんの語られる言葉の一つ一つに、私達保護者が気づくこと、なかつた様子が飛び出し、ハッとさせられた。

続いて行われた発表は、愛川高校PTAによる「地域の学校をめざして」。愛川町に高等学校をと沢山の方々の要望によって、昭和58年に愛川高校が開校した。愛川町は外国籍の住民が多く、保護者の中にも多いため、入学説明会では生徒が通訳を務めている。そのお礼とし

以降の遺跡が見つかり、貴重な品が多数出土した。校内には、それらの品々が展示されている。PTA活動では、「フッシー輪!和!」を合言葉に、誰もが無理なく、楽しく、気軽に参加できることを目指している。

横浜北地区交通安全集会

安全への真剣な取り組み

11月19日(土)県立神奈川総合高校、多目的ホールにおいて交通安全集会が開催された。霧が丘高校、白山高校、元石川高校の発表と他10校による掲示物が所狭しと並び、盛沢山の集会となった。

子ども達が通る「歩道の確保されていない道」を、雨天に傘をさしながら実際に通り危険な状況を撮影したり、文化祭での交通安全を呼びかけるPTAのパフォーマンスには驚いた。

指している。PTA活動を通して得られた素晴らしい仲間との出会いが財産ですと結ばれた。両校共、地域性を生かしたPTA活動が企画され、楽しく活動している様子が感じられた。



白山高校PTAのパフォーマンス

している。この事を同じ高校生や保護者の方々は知っているのだから、「安全」に対する思いは大人も高校生も変わらないと思う。世の中が便利になり忙しくなると自分を取り巻く危険も多くなつた。大人でも高校生でも自分の身は自分で守らなくてはならない。その為にも、「安全」について考える場として、「安全への意識を高める場」として、より多くの方に「交通安全集会」に参加していただきたいと思う。決してただの「行事」で終わらせるべきではないと思う程に熱心で真剣な取り組みであった。

県北地区大会

活発な活動発表に共感

10月8日(土)県高P連の秋山会長はじめ、ご来賓に(財)安全振興会小山理事長、県北地区校長会長の大屋先生をお迎えし、相模原南市民ホールにて開催された。今年度の発表は、地区でも有数の進学校である麻溝台高校と相模大野高校が行い共感を得た。

麻溝台高校は「子どもたちとともに」をテーマに、文化祭でPTAが例年行っている伝統ある模擬店の様子が伝えられ、保護者の苦勞やアイデア、

また、今年度初めて文化祭で学校周辺の危険マップに取り組んだ学校の発表もあった。協力者には「お菓子を配る」という方法は、少しでも多くの人に参加してもらおうにはどの様にすれば良いか?という課題に対する工夫が感じられた。そうして出来あがった危険マップには幾重にも貼られたシールの山が方々にあった。掲示は危険マップが主流であったが、子ども達が事故に遭遇したとき困

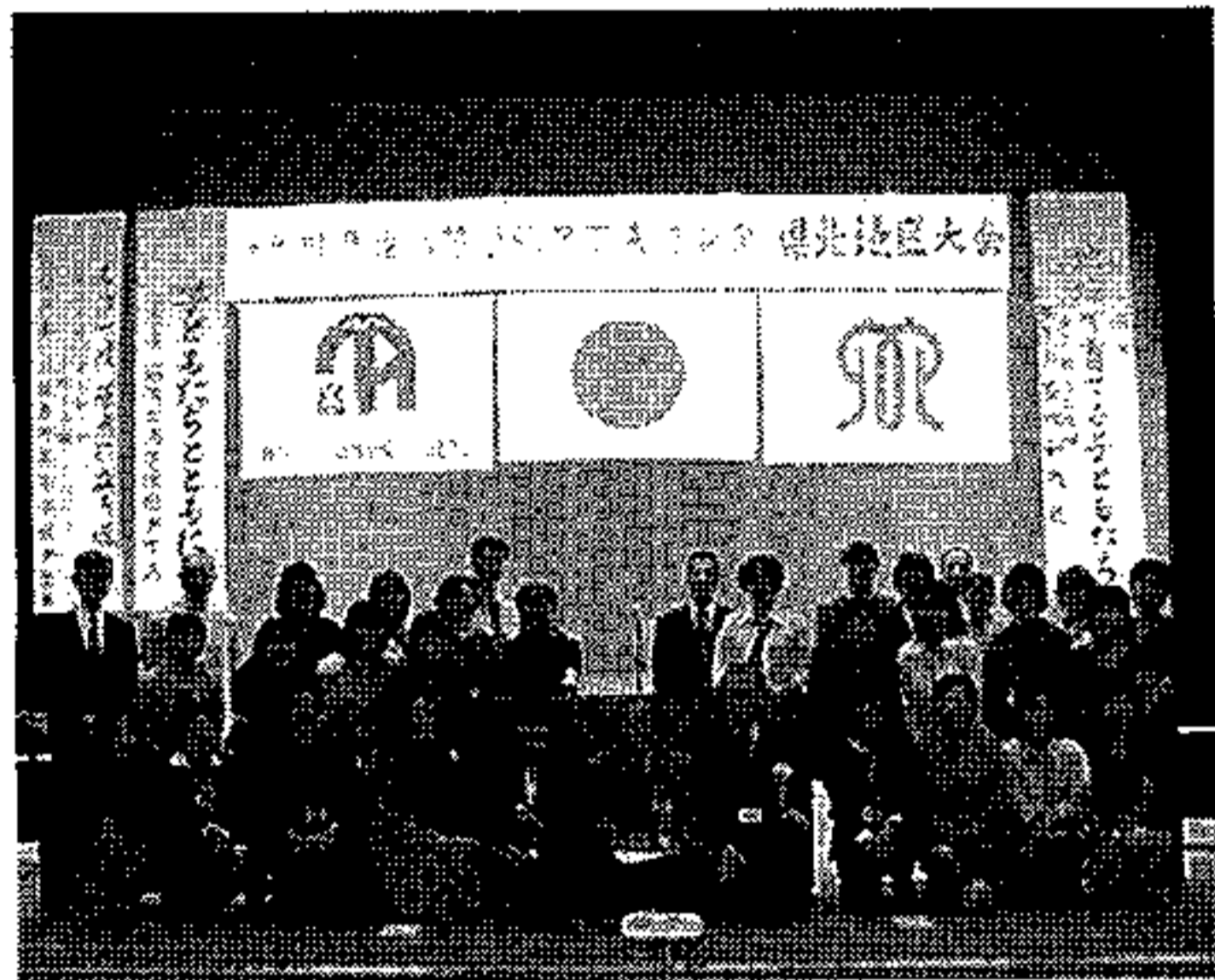
ら学区が撤廃され、通学にかかりの時間をかける生徒が増えたため、PTA活動に支障をきたすのではないかと、予想に反

して、「学校に行く機会がないので、是非参加したい」と希望する保護者が多く、活発に活動している事実には皆が驚き、改めてPTA活動の大切さに気付かされた。

講演では、NPO法人「さがみはら教育応援団」理事長の吉川和代さんを講師にお迎えし、「地域で育てる子どもたち」学校を応援する活動を通しての演題で、活動目的や内容

の紹介と共に、実績を作って信用を得ていくことの大切さなどについて話された。

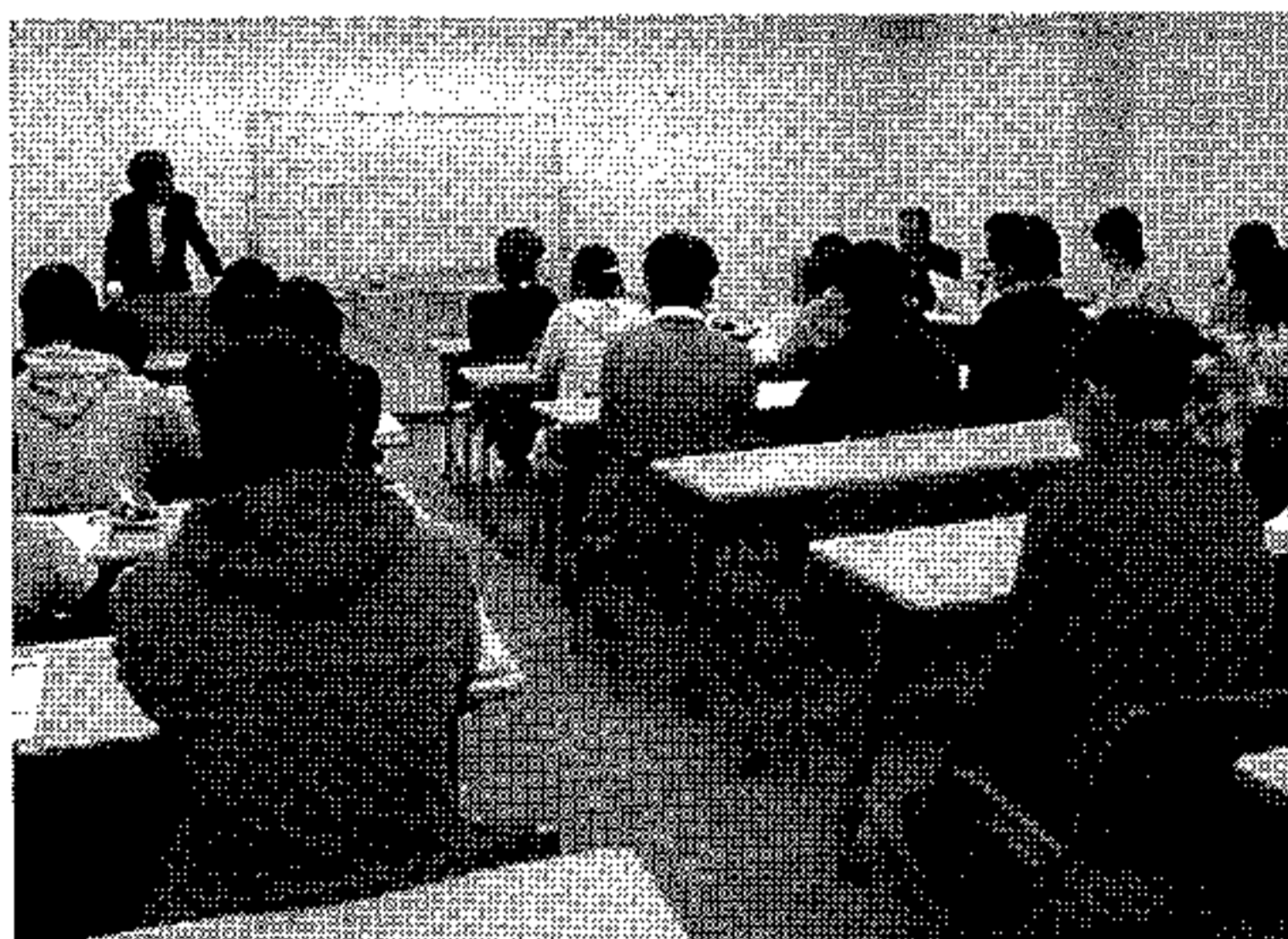
参加された皆さんに充実した一日をプレゼントできた大会となった。



大会スタッフの皆さん

今後の予定

- 総会 平成18年6月18日
パシフィコ横浜国際会議場
- 研修会
役員・理事予定者研修会 5月中旬
会長研修会 6月18日
副会長・常置委員長研修会 7月2日
パシフィコ横浜国際会議場(予定)
- 大会
第52回関東大会(千葉) 7月7日(金)~8日(土)
第56回全国大会(秋田) 8月24日(木)~25日(金)
第44回県大会 11月28日
パシフィコ横浜国際会議場(予定)
地区大会 11地区で開催
10月~11月
エイズ・薬物乱用防止啓発事業 12月中旬
- 交通安全集会 9月~11月
10地区で開催
- 第30回広報紙コンクール
募集期間 平成19年2月~3月末日
表彰式
- 平成19年度定期総会
- 会報発行 第115号(2月)



総合学園ヒューマンアカデミー横浜校の授業風景

この度の更新は高P連にふさわしい、さわやかで見やすく、躍動的なイメージを基本とし、総合学園ヒューマンアカデミー横浜校の学生の力により、平成18年4月開始を目標に、現在準備中です。

県高P連ホームページ
ただ今リニューアル中

神奈川県立高等学校PTA連合会

TEL 045-432-5889
FAX 045-432-5891
Eメール pta-kanagawa@mtg.biglobe.ne.jp
http://www1a.biglobe.ne.jp/koup-ren/

数年前からの県高P連のホームページがこの度生まれ変わろうとしております。

このホームページの目的は高P連の活動に関するフレッシュな情報をリアルタイムで広く一般に発信するとともに、会員相互の連携をさらに密度濃く深めていくことです。